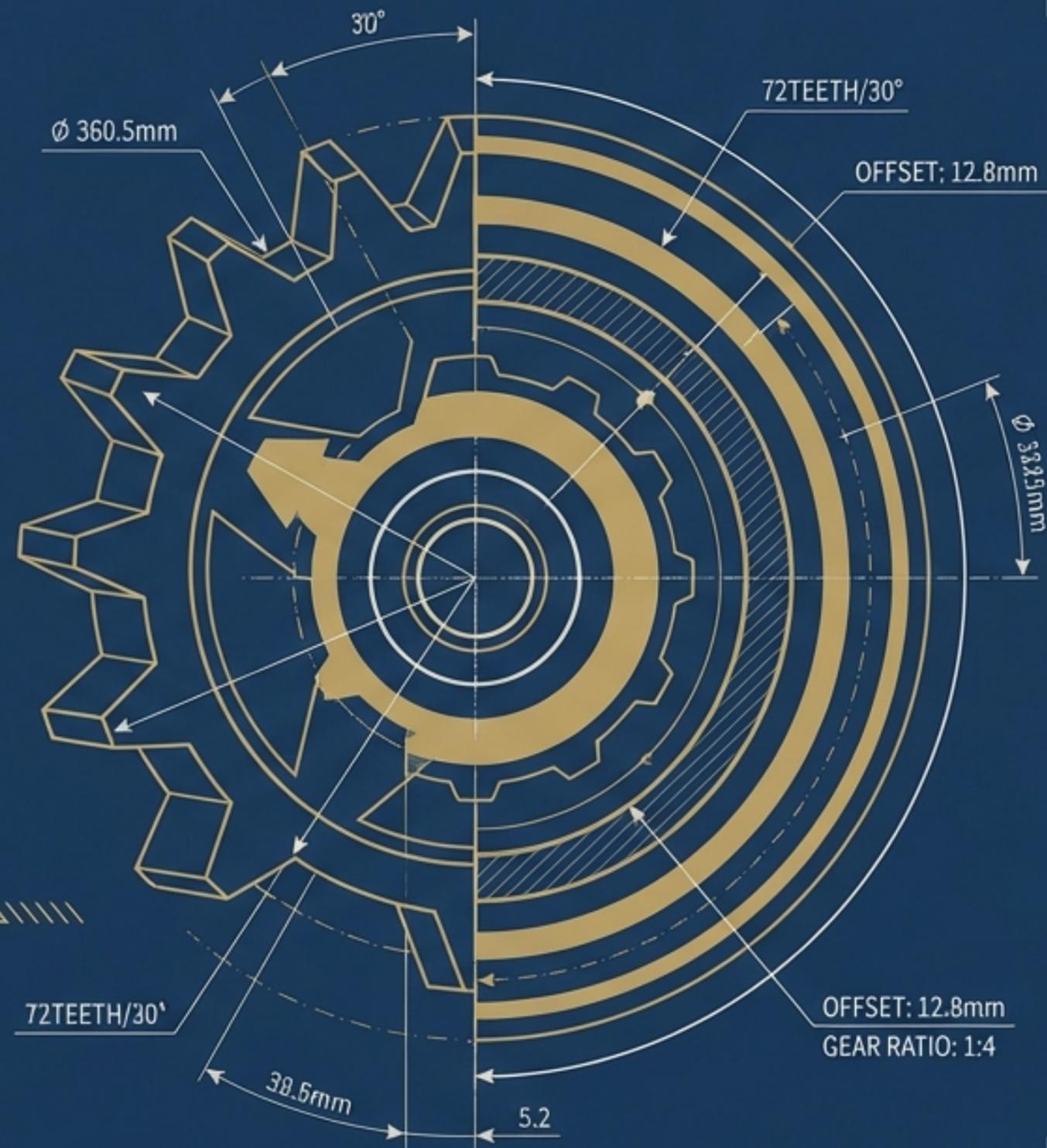
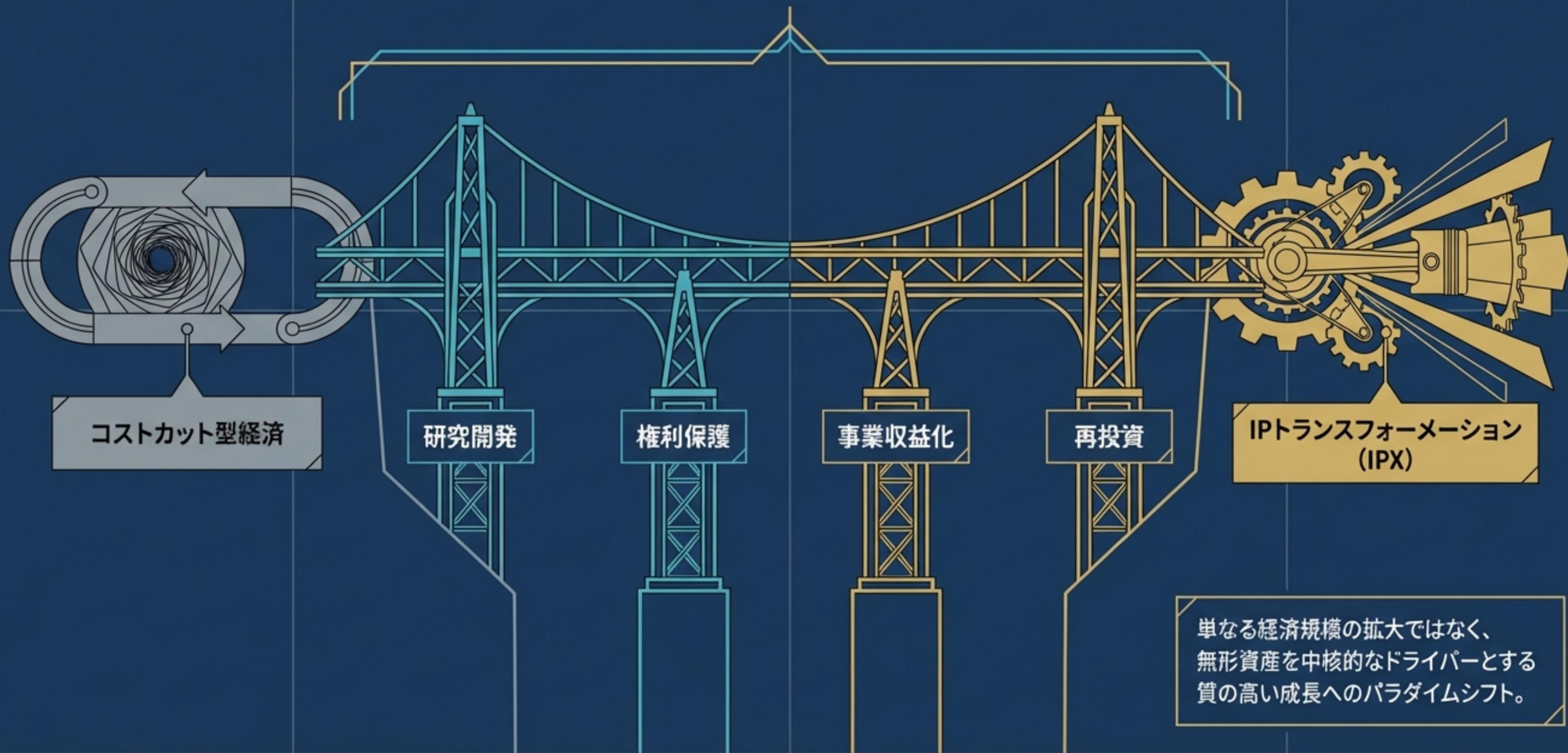


IPトランスフォーメーション： 未来の価値創造エンジン

日本の成長戦略を左右する「5つの知財課題」と次世代エコシステムの設計図。コストカット型経済から、無形資産主導の国家戦略への転換。



知的創造サイクルの加速





WIPOグローバルイノベーション指数

2035年までの国家目標



国内主要企業の時価総額に占める無形資産の割合

企業価値の源泉の転換

これらの野心的な目標を阻む「5つの致命的な課題」が現在存在している。

影響範囲

国内基盤

グローバル市場

攻め

コンテンツIP

圧倒的なソフトパワーの
収益化

国際標準化

ルールメイキングによる
市場制覇

中小企業・
スタートアップの
知財経営

イノベーションの源泉

守り

AI時代の新制度

権利保護と技術進化の
ジレンマ解消

経済安全保障

技術流出の阻止と
サプライチェーン防衛

戦略的アプローチ

生成AIの圧倒的進化スピード

現行の法制度
(自然人前提)

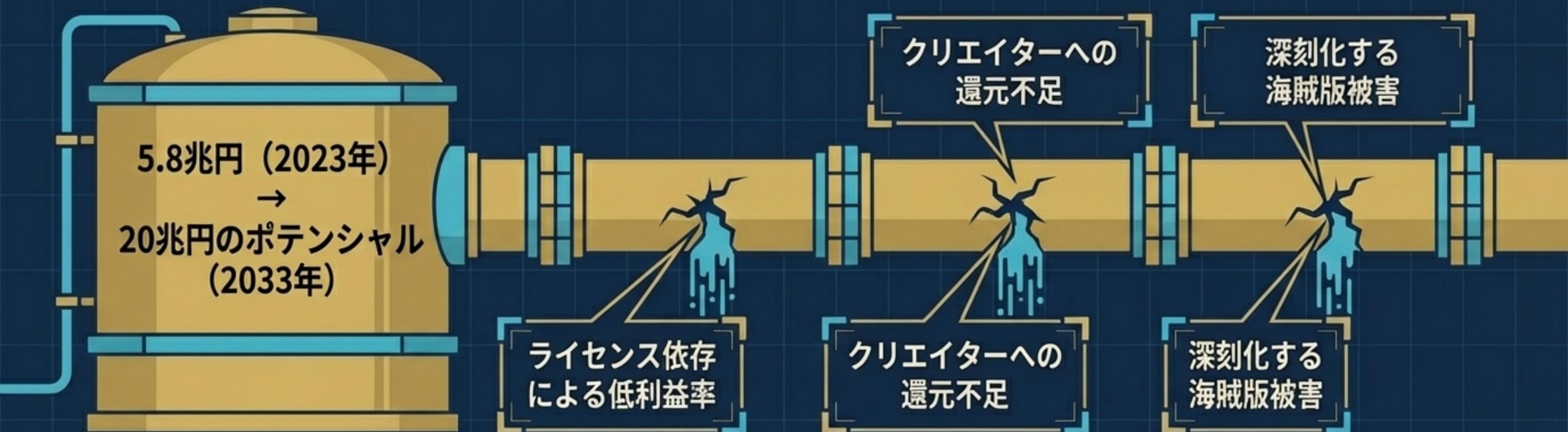
Risk 1: 著作権侵害のグレーゾーン

学習データの大量利用と生成物の類似性による法的リスク増大。

Risk 2: AI発明の保護不在

自律的に生み出された発明の権利化に関する世界的な基準の欠如。

対応策：法改正・明確なガイドラインの策定、AI生成物の国際的なルール形成主導、AI発明の審査基準明確化。



コンテンツ海外展開 1.0 vs 2.0

	1.0	2.0
ビジネスモデル	海外事業者へのライセンス供与	リスクを取った自社D2C直接配信
顧客データ	プラットフォーマーが独占	自社で直接取得・ファンダム構築
収益構造	低利益・中抜き構造	ハイリスク・ハイリターン、エコシステムへの再投資

国際標準化戦略： ゲームのルールを自ら創る

欧米・中韓に対するSEP（標準必須特許）戦略の遅れ。優れた技術が市場の支配に直結していない現状。

3類型・5パイロ
ット分野

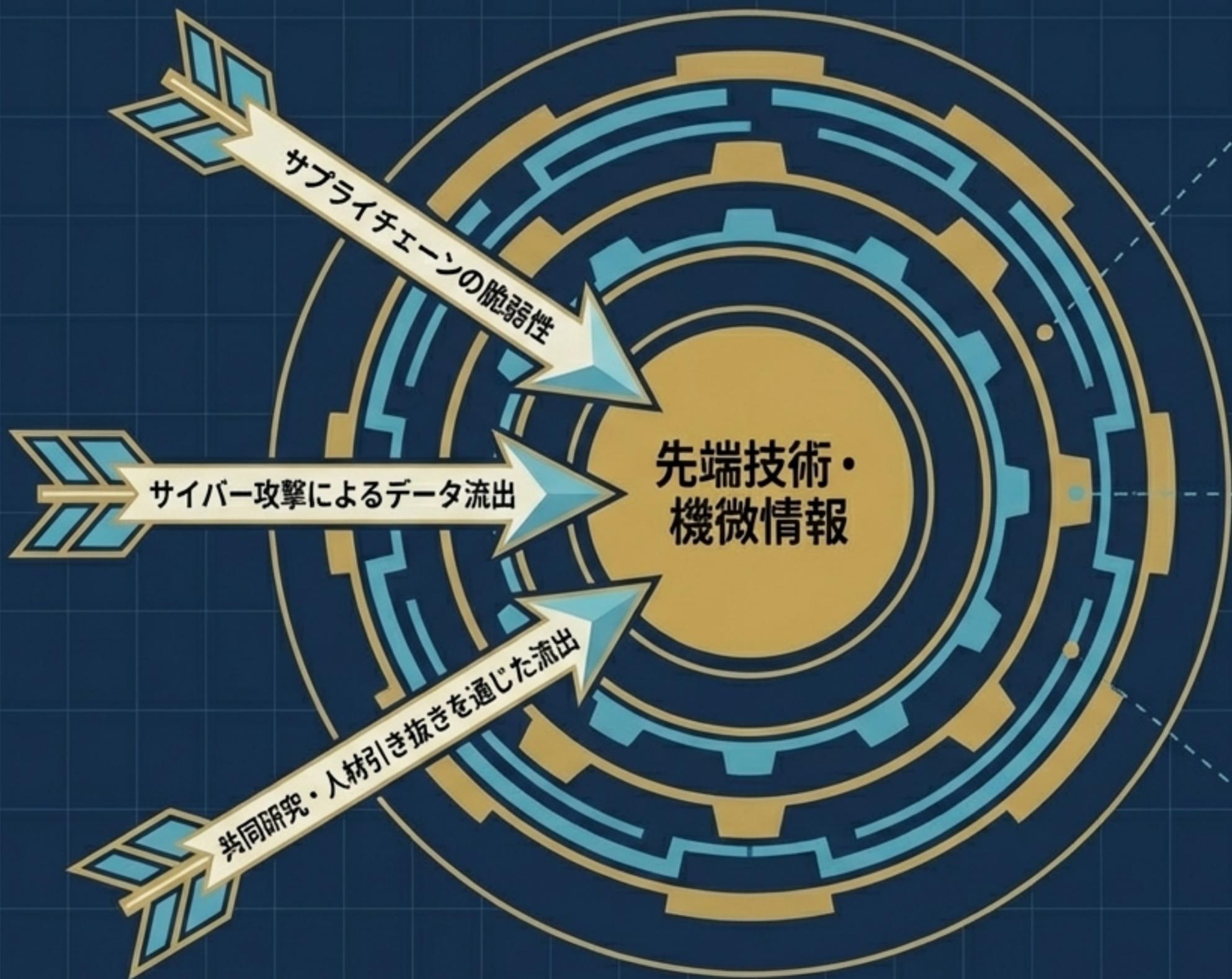
国がリードすべき分野の
特定と知財戦略策定。

標準化アライアンス

産学官連携による研究開
発初期からの標準化推進。

人材育成&支援

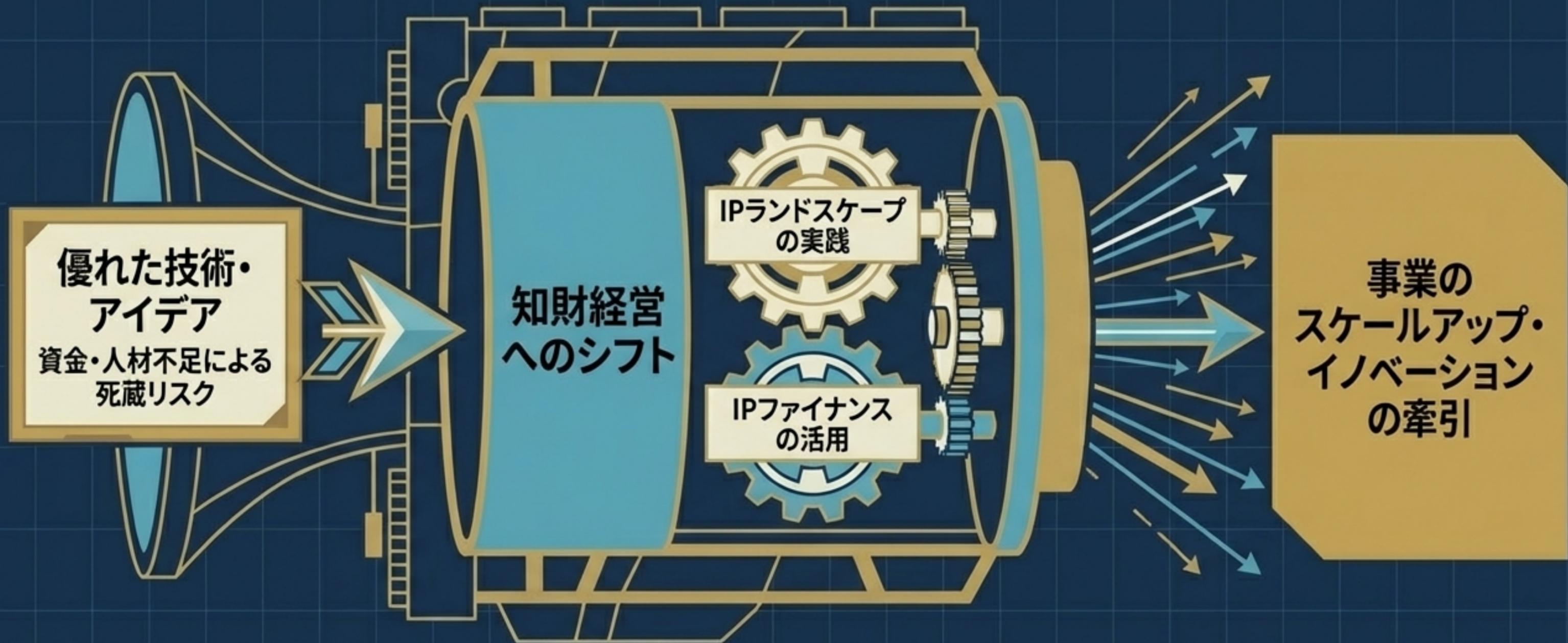
SEP交渉の専門家育成
と中小企業向けコンサ
サルティング強化。



「経済安全保障経営
ガイドライン」の徹底

サプライチェーン全体
での知財・技術管理
体制の構築

大学・公的研究機関
における技術移転体制
の抜本的強化



経営層のIPリテラシー向上プログラムと、コンサルティング機能の拡充が急務。

領域	現在のボトルネック	戦略的対応策
1. AIと知財制度	法整備の遅れ、学習データ・生成物の権利のグレーゾーン	著作権法改正・ガイドライン整備、国際的なルール形成の主導
2. コンテンツIP	ライセンス依存の低利益構造、クリエイターの還元不足	海外D2C展開支援、海賊版対策強化、契約ガイドライン策定
3. 国際標準化	欧米・中韓に対するSEP戦略の遅れ、個別対応の限界	標準化アライアンス形成、5パイロット分野での戦略一体推進
4. 経済安全保障	サプライチェーンや大学からの技術流出リスク増大	経営ガイドライン導入、研究開発段階からの全社的管理体制構築
5. 中小企業知財経営	資金・人材不足による権利化の遅れ、IPランドスケープ未実装	IPファイナンス拡充、経営層向けリテラシー向上支援

知的創造サイクルの完成図



IPトランスフォーメーションは、政府のスローガンではない。
企業の存亡を分ける、次世代の「競争のルール」である。



法務・知財部門のサイロ化を打破し、
経営層自らが「無形資産の価値創造」を主導せよ。
2035年の価値創造大国へ、今、意識改革の歯車を回す時。